

花  
た  
ち  
ば  
な



西北高地より学舎と寮の遠望（昭和62年 7 月 1 日撮影）

題字 川島源司先生

目次

* 創立二十周年記念号に寄す 高知学園短期大学学長、高知リハビリテーション学院長	近 藤 勝	2
* ごあいさつ	同窓会会長 高 橋 幹 博	2
* 高知学園短期大学、リハビリテーション学院、 同窓会の歩み		3
* 第11回同窓会総会御案内		6
* 開学20周年記念式典、祝賀会の御案内		7
* 告知板		7
* 前略、お元気ですか？（同窓生の声）		8
* 社会人ゼミナール		16
「高知県における理学療法士」	高知県立子鹿園長 江 口 寿栄夫	
「ふれあって、仲間づくりを」	高知県保健環境部健康対策課 宮 田 福	
「学校教育と実社会」	三洋証券高知支店長 鼠 家 義 和	
「母校の評価」	高知県歯科医師会会長 西 野 恭 正	
「きょうだい学校・ 温かい心の交流を」	高知小学校長、高知幼稚園長 高 橋 緑	
「創立20周年によせて」	高知県臨床衛生検査技師会会長 公 文 精一郎	
* 学内報告		19
* 編集を終って		19
* 就職状況		20



## 創立二十周年記念号に寄す

高知学園短期大学学長  
高知リハビリテーション学院長

近藤 勝

祝うべき記念号なり感激を

三十一文字に託して我は

かにかくに学短・リハの懐かしく

花たちはなの便り待たるる

とにかくも二十周年めぐりきて

巢立てる同窓いまや七千

目度度も二十周年めぐりきて

花たちはなの色も鮮やか

同窓の心の糧と誇り咲く

花たちはなの香りは永久に

送られし花たちはなを確と手に

握りて燃ゆる我が心かな

同窓の心を結ぶたちはなの

花の香りのいとど清しく

そのかみの血潮のたぎり惚ばれて

花たちはなを確と握りぬ

同窓の力と誇り緬い交せて

永久に伝えよ花たちはなを

同窓の心一つに緬い交せて

花たちはなは永久に咲くらん

たちはなの花に誘われ生まれたり

二十周年記念号いま



## ごあいさつ

同窓会会長 高橋幹博  
(衛生2期)

そして、学生の勉学への励みと同窓会活動の発展に大きく寄与するものとして、学業奨励制度の導入も検討しております。

今後、母校の発展と同窓会活動の発展を祈念しますとともに、会員の皆様方のご健康とご多幸をお祈りいたします。

開学20周年を迎え、心からお喜び申し上げます。昭和48年に同窓会が発足して以来、はや14年の歳月が過ぎ、我が母校も成人式を迎えることになりました。

そして、会員も6,500名を越え、同窓会活動も益益活発になってまいりました。

これまでに、同窓会が大きく発展してきたのは会員の皆様方のご協力と、関係方々のご支援によるものと深く感謝しております。

さて、同窓会では今、総会及び懇親会の開催と「花たちはな」の発行を2年に1回行っております。さらに、今年は開学20周年に当たるために、その行事として、式典、祝賀会、記念講演、等が10月31日(土)に計画されております。同窓会としてもこの行事を成功、且つ、盛大に終わらせるために会員の皆様方のご協力をお願い申し上げます。



## 高知学園短期大学、リハビリ テーション学院 同窓会の歩み

昭和62年で短期大学も20才、成人の日を迎えることとなりました。ここで20年の歩みを振り返ってみようと年表を作ってみました。

いかがでしょうか?! 改めて時の流れを感じますよね。卒業生の皆さんには、その頃の事など思い出しながら、歩みを見ていただければと思います。



10周年記念正門寄贈

## 編集委員 苦労話、裏話

私達同窓会は、昭和48年より活動を始めていますが、今回は、会報誌の創刊号から第4号までの編集委員の方に、その頃の苦労話、裏話などと思い、原稿をお願い致しました。

お手元に届く会報誌は薄くて貧弱ではありますが、多くの人の手により、創刊号より休むことなく号を重ねています。

これからも同窓会、そして母校の発展の為に皆さんのご協力、ご支援をよろしくお願い致します。

花となれ、実となれ

創刊号編集委員  
衛生技術科5期

高岡 栄二

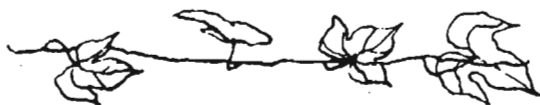
私はかつて大学への愛着といったものをあまり感じていませんでした。そんな私が学生を指導したり、お世話したりする立場にたったのですから因果なものです。

では、私のような母校泣かせの卒業生を出さないためにはどうすればよいのでしょうか。

私なりに考えてみました。第一は、教育の場でできるだけ学生と人間的接融をもつことです。第二は、大学では学生はお客さんではなく、主人となってもらうことです。

この二つは、簡単なようで難しいことをつくづく感じてきました。

それならばと思ったのが、アフタケアとしての同窓会活動です。同窓生の気持ちを結びつける糸、これこそ同窓会通信ではないでしょうか。



「生きた歴史を確かなものに」このテーマの追求こそ創刊号「花たちばな」発刊のエネルギーとなったのです。今、花となり実となって大きく育てていることに満足しています。

「花たちばな」の

編集を担当して

第2、3号編集委員  
リハビリ学院 1期

中屋 久長

同窓会通信の発行をという声が出始めたのは、毎年総会が会員の増加する反面出席者が減少するという状態を何とか解消したいという意志が働いた事が大きな理由になっている。創刊号は昭和54年3月15日、同窓会通信として発行されている。内容は本学の課題と展望と題する座談会、学長(学院長)各科の科長、事務局長、庶務課長と司会が同窓会役員の高岡氏があたっている。本学の現状の上に立った方向性や展望を各々述べておられるが、未だ新鮮な感じがする。学科増設、大学化、教育の質の向上、施設設備の充実、同窓会への期待等々、何故に新鮮だろうか?。それは、その時の課題が延々と続いている事にあるのではないのでしょうか。その他、同窓会活動、役員名簿、各科だより、卒業生の活躍状況など創刊号にふさわしい内容でした。第2号は翌年7月15日号ですが、主に、小生が編集を担当しました。この号より故川島源司先生の命名で「花たち



ー シ ョ ン 学 院	月/日	同 窓 会
<p>3年制設置認可(各種学校) を理学療法士及び作業療法士 を理学療法士養成施設として</p>		
	<p>6/30 8/18 *</p>	<p>第1回高知学園短期大学、高知リハビリテーション学院同窓会準備会。 第1回高知学園短期大学、高知リハビリテーション学院同窓会総会開催。 同窓会規約施行。</p>
	<p>8/11 8/17</p>	<p>同窓会規約一部改正、適用。 第2回高知学園短期大学、高知リハビリテーション学院同窓会総会開催。</p>
<p>の修業年限3年を4年に変更</p>	<p>8/8</p>	<p>第3回高知学園短期大学、高知リハビリテーション学院同窓会総会開催。</p>
	<p>8/7</p>	<p>第4回高知学園短期大学、高知リハビリテーション学院同窓会総会開催。</p>
	<p>8/13</p>	<p>第5回高知学園短期大学、高知リハビリテーション学院同窓会総会開催。 10周年記念正門寄贈。</p>
	<p>8/12</p>	<p>第6回高知学園短期大学、高知リハビリテーション学院同窓会総会開催。</p>
	<p>3/15 8/4</p>	<p>同窓会通信 創刊号発行。 第7回高知学園短期大学、高知リハビリテーション学院同窓会総会開催。</p>
<p>を各種学校から専修学校とし</p>	<p>7/15 8/3</p>	<p>同窓会通信第2号「花たちばな」発行。(題字 川島源司先生) 第8回高知学園短期大学、高知リハビリテーション学院同窓会総会開催。</p>
	<p>7/15 9/6 *</p>	<p>同窓会通信第3号「花たちばな」発行。 第9回高知学園短期大学、高知リハビリテーション学院同窓会総会開催。 同窓会規約一部改正(総会2年に1回に決定)、適用。</p>
	<p>7/1 8/12</p>	<p>同窓会通信第4号「花たちばな」発行。 第10回高知学園短期大学、高知リハビリテーション学院同窓会総会開催。 (花たちばな発行、総会の案内もかねて2年に1回となる)</p>
	<p>4/1</p>	<p>同窓会規約一部改正、適用。</p>
<p>佛教大学と併修。</p>	<p>9/1 10/24</p>	<p>同窓会通信第5号「花たちばな」20周年記念号発行。 第11回高知学園短期大学、高知リハビリテーション学院同窓会総会開催。</p>

ばな」となりました。学長も上村登先生より藤岡正秋先生へと交代しました。岸先生の退官、また、同窓会を育て、応援下さいました池道和老师のご逝去という残念な事を報じなければならない号でもありました。わずかに2号の編集のお手伝いでしたが、その時の苦勞は（あまりなかったですが）今、改めて読み返してみると、どこかにふっ飛んでしまいました。大切な事はヤル事、ヤルっきゃない。ということです。これは同窓会の大きな遺産、財産となるものと確信します。編集は各科、学院にまた各年代にアピールするものでなくてはならない、しかも親しみある内容で母校の事項も適確に伝える事が肝要です。この「花たちばな」を中心に同窓の輪が大きく広がり、母校の発展へとつながることを願ってやみません。

## 「ああ 花たちばな」

第4号編集委員  
食物栄養科14期  
友村正子  
(旧姓 荒川)

「花たちばな」元編集委員長という立場の上に胡座をかき偉そうにも筆を取らせてもらう事になった。

「編集した頃を振り返って原稿の方よろしく」と頼まれ請け負ったまではよかったが、「花たちばな」の内容について殆ど忘れてしまっている。覚えている事といえば、やたらコーヒーを飲んでケーキを食べながら偉そうに演説をぶった事ぐらいで、改めて自分たちで作った「花たちばな」を見せられると赤面してしまうのである。

こんな事を書くに諸先輩方に、なんたるふらち者と同窓会役員にあるまじき言動と御叱りを受けるのは必至であるが、所詮同窓会活動というものは、この様に熱し易く冷め易い何か使命感に燃えていた自分を後に振り返ると自己嫌悪に落ちてしまう様な自己陶醉の世界のような気がする。

今の世代の同窓生に「是非、編集委員は私に！」と名乗る者もまずは居ないと思われ、編集委員になったと言って同級生に自慢する者がいるであろうか。もし、友達の間で出るとすれば「誰でえ、私を役員にしたがは、今度編集委員にさせられたやんか。」というのが見たくない現実ではないだろうか。

だからといって、それが良い悪いといっているのではなく又、同窓会を批判しているわけでは決してない。私としては、同窓会という活動は地味ではあるが必要性という点では十二分に認めている一人である。

ただ、「花たちばな」の編集をし、同窓会活動に加わって思うのであるが、活動している者だけがやたら盛り上がるだけでなく、もっと冷静な目で周囲を見てみる又、外から内を見る目を持つことも大切ではないだろうか。

今まで同窓会を支えてこられた先輩方の並々ならぬ御苦勞には頭も上がらぬ思いがあり、感謝し足りない程である。年々卒業生が増え同窓会も次第に大きくふくれあがってきている今日この頃では、益々同窓会の必要性が重視されて来ると同時に今まで先輩方の造られた堅い基礎の上にしかりした建物を造りあげて行かなくてはならない。

時の流れがあまりにも早い昨今、人の気持ちを掴むのは安易な事ではないが同窓生の気持ちを掴む、「花たちばな」、「同窓会」を目標にみなさんの力により支援願いたいと思うのである。

## 第11回同窓会総会御案内

下記の要領で第11回同窓会総会を開催いたします。多数のご参加をお願いいたします。

記

日時：昭和62年10月24日(土)

PM 2:00 ~ 4:00

場所：高知学園短期大学 会議室

(1号館3階)

議題：役員改選、規約改正、会計報告  
開学20周年記念事業

※尚、準備の都合上9月30日(水)までに同封の返信用ハガキにて出欠をお知らせ下さい。



## 開学20周年記念式典、 祝賀会の御案内

高知学園短期大学、高知リハビリテーション学院は、皆様のお陰様をもちまして今年度開学20周年を迎えることになりました。

つきましては、下記のとおり記念式典、祝賀会を開催いたします。同窓生の皆様のご参加を心よりお待ちしております。

### 記

記念式典 日時：昭和62年10月31日(土)  
PM 2:00～4:00  
場所：高知学園(体育館)  
式典では宮地貫一氏(放送大学学園理事長)の講演が予定されています。

記念祝賀会 日時：昭和62年10月31日(土)  
PM 5:00～7:00  
場所：三翠園ホテル  
(高知市鷹匠町1-3)  
会費：3,000円(同窓会員)  
祝賀会は同窓会の懇親会を兼ねております。ぜひ、ご出席下さい。

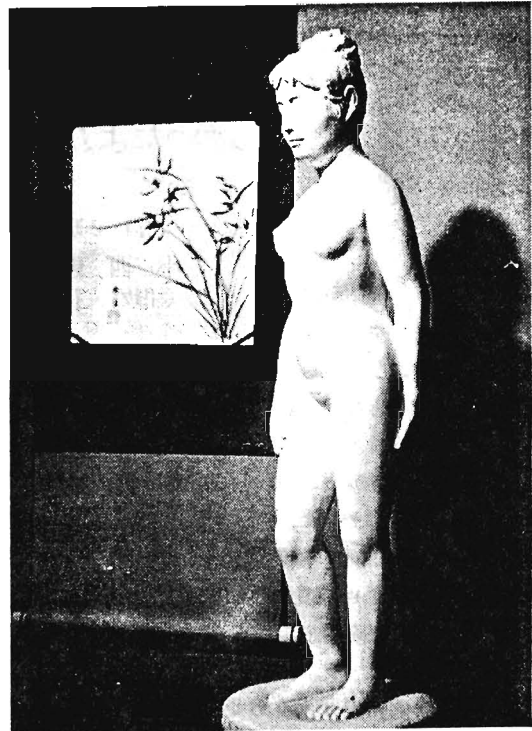
※尚、準備の都合上9月30日(水)までに同封の返信用ハガキにて出欠をお知らせ下さい。

## 母校に記念像を寄贈

同窓会では、短大リハビリ創立20周年記念を祝して「乙女の像」のブロンズを寄贈することになりました。(写真別添)

この清楚な「乙女の像」は高知学園短大にゆかりの深い彫塑家、横田富之助(熙生)先生にお願いして作っていただいたものです。

先生は89歳とは思えぬ若々しさと力強さで今もなお、エネルギー溢る創作活動を続けておられます。この10月31日の式典にはみなさまにご披露するべく準備を進めておりますので、楽しみにお待ちしております。(企画部)



乙女の像

## 告知板



## 学生の学業の向上と研さんのために、学業奨励金制度を創設(同窓会)

この度、開学20周年記念事業として学業奨励金制度を創設する案が役員会において提出されました。将来は奨学金制度にまで発展させていきたいとの夢もあり、後輩諸氏の活躍を大いに期待しております。

### 学業奨励金運用規程(案)

- 1条 本会に学業奨励金制度をもうけ、学生の学業の向上と研さんを奨励援助する。
- 2条 奨励金の額は、本会基本金の年間利息の範囲内で、本会役員会において承認された金額とする。
- 3条 奨励金の支給は、毎年1回会長より授与する。
- 4条 支給該当者は、各学科の1年次終了者で、人物、学業ともに秀れ、各学科長より推薦された者とする。

## 同窓会長を学校法人高知学園の 評議員として推薦

開学20周年を記念し、学校法人理事会より同窓会に評議員の推薦依頼がありました。役員会において検討し、当年度の会長を推薦することに決定しました。

今期は衛生技術科2期生の高橋幹博氏が評議員として活躍されております。

### 前略お元気ですか



老人ホーム  
やすらぎの家  
(栄養士)

“今日のごはん、お  
いしかったよ!!”

食物栄養科2期

小西 恵子  
(旧姓 石川)

短大を卒業して、もう何年になるでしょう。現在、私は特別養護老人ホーム「やすらぎの家」の栄養士として3年が過ぎようとしています。

編集委員の方からこのお話を頂いた時、私のようなものにと驚きました。

卒業後、高知割烹学校の高橋光先生のもとで、助手として勉強させて頂き、その後、栄養士としてではなく受付、保険請求事務の方で病院へ就職しました。

そして家庭に入り、改めて再就職を考えた時、やはり資格を生かした栄養士をと所思いました。

たまたま恩師である松本和先生が、近くに住んでおられ、時々お逢いしては就職のことなどお願いしてありました。

運よく病院栄養士のお話があり、経験もないのに務まるのだろうかと思ながらも就職。

長い間のブランクは、学生時代に習ったことも役にたたなかったり、忘れていたりで、一からやり直し、同僚の助けをかりながら、どうにか慣れた頃、「やすらぎの家」の栄養士にとのお話があったのです。今までは、何人かいる栄養士の中のひとりだったので、困った時や、わからない時は、すぐ相談で

きたのですが、新設の、それも特別養護老人ホームなのです。どういう風にやっていけば良いのかわからないままに、不安ととまどいで、始まった私の施設栄養士としての第一歩でした。そして今、「今日のごはん、おいしかったよ。」と言って下さるお年寄りの笑顔に接した時、栄養士の道を選んで本当に良かったと思います。

栄養士としての知識不足を痛感しながら、これから、ますます努力し、がんばっていかねればと思う今日この頃です。



高知相互銀行  
本町支店

## 男女雇用機会均 等法施行に直面 して

食物栄養科11期

山崎 由美  
(旧姓 氏原)

学園を卒業、銀行に入行し早や6年が過ぎました。結婚したら仕事を辞めよう、子供ができれば育児に専念しようと思っていたのに結局、子供が去年の11月に生まれた今も働めています。というのも、61年4月に男女雇用機会均等法という法律ができ、当行でも女子渉外行員の導入をはかり、私が、渉外係として第一線で、働く場を与えられたからです。渉外係というのは、銀行では内勤と外勤があるのですが、内勤は窓口でお客様が来店されるのを待つ身の立場で、外勤、渉外係というのは攻めの立場で、預金をどんどん、獲得しないとイケないのです。最初は、私の力で渉外係が勤まるだろうかという不安があり、銀行業務についても、もっと勉強しなくては、新聞も毎日読み経済の状態を知っておかなくては、その他お客様のニーズに合った話ができるように本を読まなくてはと、一生懸命努力しました。その結果、男子行員以上の業績を上げることができ、自信にもつながりました。

しかし、男子行員と女子行員では、能力面、体力面でもまったく同等にはいかないのです。もともと特質も異なっています。私は女子にしかない繊細さ、誠実さ、几帳面さなどの特質を生かして女性らしさを強調し、女子渉外行員として、業績を上げようと思っています。女性が仕事をし、能力がアップし、業績を上げることによって、男性を脅かし刺激することになり、会社全体の業績が上がれば、私達女



性の地位も上がるし、これからも男女雇用機会均等法が、女性にとってプラスになる法律であってほしいと願っています。私も毎日仕事が忙しく託児所に子供を迎えにいった帰るのが夜7時、寝不足で大変な時もありますが、仕事を持っている方が張り合いもあり、充実しています。働くお母さん、一緒に頑張らしましょう。!!



## 証券レディになって

食物栄養科 17期

森岡三佳

日興証券株式会社  
高知支店

就職を前にした3年前、お給料の良いといわれている金融機関で、できれば楽しい職場はないかと思っていた。映画やテレビで取引所の激しいシーンが胸に焼きついており、それに関する仕事が出来ればどんなにいいだろうとも思っていた。今から思えば単純な動機ではあった。

以来3年目、見ると聞くとでは大違いの毎日だった。まず入社して配属されたのが証券貯蓄課。接客、訪問、電話の応対と時間との追いかっこ。夜8時迄食事もとらずに働くこともある。同年代の中で、私達が一番忙しいのではないだろうか。もう辞めたいと思ったこともある。しかし、お客様に、「あなたのおかげよ。」と喜んで頂くと本当に仕事をしていて良かったと思う。

ひと昔前までは、貯蓄といえばイコール銀行預金、郵便貯金を意味していた。

ところが、高度成長時代に終りを告げ安定成長時代になると、貯蓄意欲がいつそう高まり、それにつれて貯蓄に対する考え方も明らかに変化してきた。

勤労者世帯の平均貯蓄額が733万円(S62年)にまでなった現在、人々が「どうためるか」ではなく、それを「どうふやすか」に非常に大きな関心を寄せ始めているのは、当然のことではないか。

すなわち、「ためる」時代から「ふやす」時代へ大きく変わったのである。

この時代のニーズが「証券貯蓄」を大きくクローズアップし始めた。これまで銀行預金や郵便貯金しか知らなかった人々が、証券会社に大きく注目している。

かつては株式のイメージが強く取引するお客様も

限られていた証券会社へ、女性も含め層が一段と広がってきた。

命の次に大切なお金を預かるのだから、信用がなければ振り向いてくれない。証券レディの自信と誇りをもって働くよう心がけなければいけない。

「顧客と共に—信頼と発展」のスローガンの下に、明るく、親切に、そして心をこめて対応するよう努力している。

現在、金利低下、為替、原油安のトリプルメリットで証券会社の環境は非常に良い。

そこにいる証券レディは、ハードではあるがエキサイティングな職業といえるだろう。

本当にこの仕事が出来て良かったと思う。



## 子育てあれこれ

幼児教育科 5期

武田智子  
(旧姓 吉川)

おさなごの園  
(保母)

昭和50年8月、卒業して12年たちます。十年一昔と言いますが、ほんとに大学に通っていたのは、もう遠い昔の事のようにです。

この12年間いろんな事がありました。卒業と同時に保育園に就職してずっと保母としてやっています。その間、結婚して子供が生まれ、卒業した頃の、講義でならった理論や自分の側に立った考えばかり前面に出て、母親の気持などその時はわかっているつもりだったけれど、今考えると全然わかっていなくて・・・今は少しは、母親の気持ちや子供の側に立って考えてやる事が出来るような気がします。

2年位前に身体の都合で仕事を休ませていただき、子育てに専念しまして父兄の立場もよくわかり、物の見方も変わってきました。

毎日、自分の子供と保育園の子供と向かい合って、楽しい日々をすごさせていただいております。





聖母幼稚園  
(教諭)

## “子供の笑顔は 最高”

幼児教育科15期  
秋山美喜代

「先生、おはようございます。」今日も子供達が元気いっぱい登園してきます。

学園から巣立って2年。卒業と同時に、モンテッソリー教育をとり入れた幼稚園に就職が決まり勤めはじめました。学園で取得した免許とは別に、モンテッソリー教員免許を取得するためにこの2年間は、九州まで、毎月1週間の研修に行き、この春、やっと取得することができて、ホッとしているところです。勤めながらの研修期間は本当に、心身共に疲れ、何度も、どうしてこんな幼稚園に就職したのだろう、やめてしまいたい、と思ったものです。でも、そんな私の気持ちとは、裏はらに、子供達はいつも「先生、先生。」とって笑顔をいっぱい見せてくれその笑顔に今まで支えられてがんばれたと思ってるぐらいです。

小さいころから、あこがれていたこの職業につけた時は、本当にうれしくてたまりませんでした。実際、現場に入ってみると、毎日毎日、楽しいことばかりではありません。

私の園では、縦割り保育なので、子供同志は自然に兄弟姉妹のような関係をつくっています。そんな子供達の姿を見ながら、私のような人間が教育者として本当にふさわしいのだろうか？……といつも悩んでいます。でも、子供達の小さい体、小さい手で、一生懸命何かをしている姿を見ては、私もがんばらないといけない、がんばらないといけないと励みながら毎日過ごしています。

これからも、子供達の笑顔に支えられながら、子供達の成長のよき助け手となれるように、日々努力していこうと思います。

「先生、さようなら。」と子供達が降園したあとの教室を見ながら、今日も一日、無事に子供達が過ごせてよかった……。と思うのです。



高知市役所  
(保険年金課)

## “やっぱり学短へ 行ってよかった”

幼児教育科15期  
長滝雅美恵

楽しかった学園短大を卒業して、はや8年目の春が過ぎました。私は今、高知市役所の保険年金課というところで、国民健康保険の仕事に携っています。この4月からは係がかわって、わからないことばかり、頭を悩ませて多忙の毎日をおくっています。

保母になりたくて学短へ入りましたが、事情があって今の職場につきましました。卒業後、街で偶然会った友達などから時々、「あれ、まみえ保母しゆうがやないの?」といわれることもありました。嬉しいような寂しいような気持ちです。

でも、いろいろあるたびに、いつも思うことは、「ほんとうに短大へ行ってよかったなあ」ということです。幼稚園免許や保母資格は、もちろん短大へ行かなければとれない資格でしたけれど、学短での2年間で、それ以上の価値あるものを手に入れたように思います。

今、思うに果たして、高校卒業後すぐに、社会へ出てうまくやっていけたらどうかということです。もちろん世の中には、そうして頑張っている人がたくさんいるわけですが、私自身だけのことに限って言えば、短大を出て丸2年間、さほどの苦しみもなく、人間関係もうまくやっていけたのは、学生時代の経験があったからだと思うのです。「このことが」とは具体的にはいえませんが、諸先生方や友人を通して、いろいろなことの難しさ、厳しさがさりげなく知れたようです。

この原稿を頼まれた時、何を書こうか本当に迷ってしまいましたけど、とにかく、「短大へ行ってよかった!!」というのを書きたいと思ひまして……でも、こんなことは皆さんもきっと考えていらっしゃるでしょうね。

いつまでも素敵なお思い出を大切にしたいと思ひます。



## 「今」

保健科 1 期

松本 佳代子  
(旧姓 小松)

芸西村役場

歯科衛生士という職業から離れて、およそ10日が過ぎようとしています。

昭和47年3月、保健科を卒業して個人経営の歯科医院へ7か月勤めました。8か月目院長の勧めもあり、村の運営する歯科診療所へ移りました。しかし、今年3月末、歯科診療所が閉鎖することになり、(公務員には変わりはないのですが)一般事務をしています。一生の仕事と決めていただけに、いろいろ悩み迷いましたが、周囲のすすめもあり残ることにしました。

タイプ、台帳記載、計算、事務連絡 etc 初めての事ばかりで周囲に迷惑ばかりかけています。

先輩から「時間が薬」の励ましの言葉をいただき、上役の暖かいまなざしに見守られて机に向かっていきます。

卒業したての頃を思い出し、比較しながら昔をふり返っています。



## 子育て真最中です!

保健科 5 期

猪野 安都子  
(旧姓 岡部)

主婦

私こと、昭和51年の春、保健科を卒業致しましてから、58年の春まで7年間、保健科の職員として就業の後、長女出生により、家庭に入り、すでに4年が経過致しました。

今は子育て真最中というところですが、親になるということは、実に変なことなんだなと、つくづく思うのです。ミルクやオムレツやら、身の回りの世話をしながら常に笑顔を向けて「かわいい、かわいい」と云っていられた頃はともかく、2歳を過ぎてカタコトの言葉を話せる様になったある日突然、あの小さい口から「ダメッ、イヤッ、のはっきりした拒絶を表わす言葉を聞いたときは、かなりの驚

きでした。4歳になった今では、幼い表現ながらも、親の矛盾、間違いをはっきりと指摘してきます。ここで曖昧にしてしまったらいけないなと、こちらでも本気で対応します。時には、子供相手に本気におこって大人気ない……と自分でもおかしくなるのですが、事のおきまへのしっかりしていない子供だからこそ、本気になって相手をしてやり、本気になってケンカもしてやらねば、と感じています。わけもなくわめいたり、親の云うことを聞かない場合は、心を鬼にして、顔も鬼になってしかります。

小さい子供は、まず親の云うことを聞くこと……力づくで云う事を聞かすのではありません。子供の人格を無視してまで云う事を聞かすのではありません。子供自身で判断がつく様になるまでは、両親の考え方を基本としてはしいのです。そのために、まず親の云う事を聞いてほしいと思うのです。…そんな事を考えていると、子育ては、自分が子供の頃からずっとしてきた事の総仕上げだなと思うときがあります。

私自身、まだまだ未熟者ですが、子供がいる以上は、親になりきらなくてはならないと思うのです。

ひとりよがりな文章になりましたが、こうして文章に表わすことで、親としての姿勢といえますか、心構えを改たにした思いです。

個性的な集団  
の中で

保健科 9 期

下司 真由美

夜須中学校  
(養護教諭)

あの先生なら、わかってくれる。あの先生になら、話してみたい、と思われるような存在を目指して…

養護教諭の対象は全校生徒です。生徒一人ひとりの気持を察し、それぞれに違った対応をしなければなりません。

保健室には、さまざまな訴えがあります。体だけでなく心の問題が体への不調として表われる生徒も年々増えてきました。また、家族の病気のことも聞きに来る。そんな時、きちんと答えられないと生徒の信頼を得られないこともあります。本当に「知は力」であることを実感する毎日です。

それと同じく教職に就き、生徒達とのかかわりの中、自分達の言葉の重さに気付くことがよくありま

す。教え育てることは、責任重大なことで、単に知識を伝えるだけでなく、そこに考えが入ると違う個性を造り出すことにもなります。この恐さと魅力。間違うことがない様、あせらず、全て毎日が学習です。

学生時代から、多方面で刺激を与えてくれた同窓生の皆様、どうぞこれからも宜しくお願いします。



## 私の大きな Life Point!

保健科15期

藤本 真由美

竹内歯科医院  
(愛媛県)

卒業し、高知を後にしてはや1年。歯科衛生士として歯科医院に勤務して、実社会の厳しさを知りました。……などとは、うわべだけの格好良さ。実社会に入る前で幾度つまづいたかなとでも言えば正解でしょう。

とりわけ、表題にも書きましたが、ここで言うライフとは生活の意味でなく、私の人生と思って下さい。

少し大げさの様に感じますが、実際私の高知での2年間はとても重要な起点となりました。風土に触れ、人々と交わりながらの勉強にしろ、遊びにしろ、与えてくれた影響は、今の自分自身の半分以上のものと言えます。

その経験を生かして、がんばらねばとファイトだけは満々なのですが、なかなか仕事に関しては発揮してくれず、ましてや県外で学んだ訳ですから、私にかかる期待は大きいばかりで、いやはや反比例な失敗をする私は暗い自己嫌悪を持っています。

私の得意技は、今まで人がした事のないドジをふむ。けど、人間はいろいろな人がいるからこそ多種多様な毎日があるのだ。医院長に、今までにないと、頭をひねられても、マイペースをくずさない私は、わがままでしょうか。

まだ、たったの1年が過ぎたばかりの段階で大きな事は語れないのですが、医院内での歯科衛生士としての働きは、虫歯予防、ブラッシング指導などと学んだ事はもちろん、やはり人々との明るいコミュニケーションにあると思うのです。

今日も明日もこの先ずっと、高知での思い出を大切に、人々の輪を螺旋状に広げます。

これが私の得たものとも言いましょう。



## 卒業後、二度目の 春を迎えて

保健科14期

芝 留美子

会社員

卒業して、2度目の春を迎えました。皆様お変わりありませんか。

学生時代、とても優等生とは言えなかった私が、この様な場に投稿させて頂き、驚いている方も多い事でしょう。

卒業時には、就職も決まっていなかった私も現在は、ある会社のOLとして、元気に働いております。

社会に出て実感した事として、女性の社会進出が大きく取り上げられて何年か経つのに職場は、まだまだ男性社会で、女性は自分の仕事以外とにかく雑用が多いのです。掃除やお茶汲み、コピーにFAX、それも仕事の内、と言われればそれまでだけど、「どうして女性だけが？」とつい疑問に思ってしまうのは私だけでしょうか。

保健科で歯科衛生士の勉強をしたにも拘らず、全く関係のない職種に就いて、当然、身につけた知識も薄らいできていますが、学生時代、友達ととりとめもなく、将来の夢を語り合った事は、社会に出て「甘い夢だった」と実感した今でも妙にはんわかとした暖かい思い出だし、1年の時、ある先生がおっしゃった「歯科の知識は、何も歯科衛生士にならなくても、自分の子供や身のまわりの人達に充分、生かす事ができる。」というお言葉は、今になって納得させられます。

そろそろ、適齢期を迎える頃で、既に結婚なされた方々のお噂も耳に入って来ますが、この過渡期を仕事でも、私生活でもしっかり充実させて行きましょう。





## 臨床検査技師とは

衛生技術科 2 期  
岡 本 茂 高

京都府立医科大学附属  
病院臨床検査部

創立 20 周年おめでとうございます。私が本学に入学したのは 19 年前で臨床検査技師（当時は衛生検査技師と言う名称でした。）が医療に従事する仕事であると知っていましたが、どのような仕事であるかは全く無知の状態でした。

もし糞便の検査があると知っていたならば入学していなかったでしょう。勿論血液学、血清学、生化学、細菌学、生理学等の分野があるとは知りませんでした。

学業に対してもこの調子でした。例えば実習は学内実習のみで 1 班 6 人で構成されていました。私共の班は幸いに学業優秀な学友が全て行ない私は食堂でコーヒー等を飲み時間を費し、そして実習報告はその学友のレポートを写し少しばかり変えて提出していました。

この様に目的もなく、何の為の勉強か全く分らずに学生生活を過してきました。又実社会は試験と言う難物もなく必要に迫られた最少必要量の新しい知識と技術を覚えることで良いのです。そして就職後数年は好奇心により仕事の張り合いを持てるが次第に好奇心も薄れ仕事もマンネリ化してしまい惰性で仕事をするようになります。

ある時なにげなしに学生時代の教科書を見ると、卒業後 10 数年過ぎているのにもかかわらず現在でも十分に役立つ、又実際行なわれていない検査もあり、臨床検査とはどうあるべきかを考えさせられました。

臨床検査技師は医療の一端を担い医学の進歩は休まることなく、私達の分野でも続々と新しい方法や術式が導入されていることにより、私達の仕事も細分化され、検査項目も多くなり、必然的に要望の少ない検査は日常検査から外されます。

しかし病院には様々な患者が受診され頻度の少ない検査も行なえる技術と知識が必要であるのではないのでしょうか。

卒業 10 数年で初めて臨床検査技師とは何か。又何をしなければならぬかが分った様に思います。

仕事の意義を認識すれば張り合いができ楽しいものです。皆様ももう一度臨床検査とは何かを考えてみませんか。



## 卒業して— その後。

衛生技術科 16 期  
筒 井 葉 子

日本生命保険相互会社

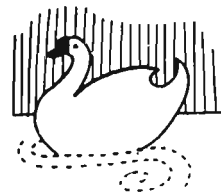
衛生技術科を卒業して、早くも 1 年が過ぎてしまいました。20 歳を過ぎると年を取るのが早くなるとこの頃ではよく感じるようになりました。

卒業してから 1 年間は、RKC ラジオで、ラジオカーレディという職業についていました。ラジオカーレディというのは、要するにラジオのリポーターで、スポンサーの方のお店にゆき、そのコマーシャルをインタビュー形式で行うものです。2 人 1 組で、1 人がインタビュー、もう 1 人が、タイムキーパー兼運転手兼コード引き兼、雑用係でこれを交替で行うんですが、どちらも仲々大変な仕事で、それでいて、毎日違う所で、いろいろな方にお会いできて楽しくて、短大時代とは全く無縁の仕事ですが、1 年間、いろいろな勉強をさせていただきました。

この仕事が 1 年契約で、終了したので、現在は生命保険会社に勤務しています。直接ではありませんが、生命に関する仕事ですので、学生時代に学んだ知識を少しでも生かせるいいなあとか、又、いろいろな勉強ができるのではないかとと思っています。

“根気、元気、やる気、3 つの気を育てよう” これは、同僚の方から、教えていただいた言葉です。自己反省の意も含めてですが、現在の学生には、この 3 つの気が、足りないように思います。若いうちに、学生であるうちに脳のしわを増やすことばかりではなくて、この 3 つの気と、そして、人間としての器を、大きく育ててほしいと思います。

お体に気を付けて勉強に仕事に、頑張ってください。





第一病院  
(検査部)

## 創立20周年を 迎えて

衛生技術科 1期

山地 ひろみ

昭和43年4月、希望に胸ふくらませて短大の門をくぐった私は、定員の倍近い同期生にビックリ、更に先生方の数の少なさにもビックリの入学式でした。会場も高校の講堂を間借りしたものでした。

実習するにも器具不足のうえ、講義も休講が多かったりで、こんな状態で良いのかしら、と不安に思う毎日でした。また、定員オーバーのため病院実習ができず、個人的に知人に頼んでやっと病院実習をやらせてもらって、技術を修得するといった有様でした。

そんな中で、一番の思い出と言えば、3年生の夏休みに1週間ぶっ続けて集中実習をやったことです。朝6時から、夜8時頃まで実習し、下宿に帰ってその日のレポートの整理をやり、「検査提要」で翌日の予習をやりました。その時にはつらい実習でしたが、今思うと、とても充実した楽しい期間でした。

クラブ活動、新入生歓迎会、クラスマッチ等の学生活動も全員で話し合っって計画し、クラス自体は多人数の割にはまとまりがあった様に思います。3年生の秋には希望者20数名で、天狗高原に2泊3日のキャンプにも行きました。夜遅くまでの友人との語りいと、すがすがしい山の朝の記憶は今でも忘れられません。

衛生技術科1期という事で、図書も教室も教材もすべてが不十分でしたが、今思うと、そんな困難を打ち破って与えられるものを、ただ受け身で待つだけでなく、前向きに進んで行く力を、この学生時代に身につけられたのですからおかしなものです。現在仕事をしていく上で、この人生経験が一番役に立っている様な気がします。

20年前は、やっと大病院に自動血球計算機が導入されかけた頃で、生化学検査はまだ手法でした。今や医療の現場にも、どんどんコンピューターが入り込み、自動化が進み、大手検査センターが外注検査を一手に引き受け、検査技師の職場もますます厳しくなっておりますが、技師の先輩方、後輩の皆様、先生方と共に、生き残れる道を一緒に考えて

行きましょう。

高知学園短期大学の増々の御発展を心から御祈り致しております。



高知医科大学病院  
理学療法部

## 卒論をめざす今

リハビリテーション 1期

鶴見 隆正

午前2時までにとあと1時間……と時計を見つづレポートを書き上げ、寝静まった国道を高知駅前の本局へとブッ飛ばし、夜間受付のブザーを押して速達手続きをする。午前2時までなら朝の第1便で大阪に行き、その日のうちに京都の佛教大学へ届き提出期限に間に合う。これを年に4～5回くり返して、早や4年目を迎えた。

このように小生は理学療法士としての表の顔と佛教大学の社会福祉学科4回生(通信教育)という歴とした学生でもある。ここで学生生活について触れてみる。入学の動機は福祉、社会福祉、社会保障など類似した用語を体系づけて学び理解したかったことと学生気分を満喫したかったからである。学生としてのノルマは与えられたテーマについて教科書、参考書をもとに1教科16枚のレポートを提出すると高知で年5回ある試験を受けることができ、その両方が合格すれば単位となるシステムである。また毎年酷暑のなかスクーリングを15日間大学で受けなければならない。スクーリングでは教官と学生が唯一触れ合う機会であり、それだけに討論も活発で熱いものを感じる。これでは大変だと思ってしまうが、別に何もしなくても注意する先生は側におらず、ただ本と印刷物の山ができて卒業が遅れるかドロップアウトになるだけである。したがって通信教育は自学自習を基本としていると言える。小生も社会人である故、アルコールの付き合いもあれば、会合、仕事の勉強もせねばならず、大学の勉強は早朝を割り当ててきた。しかしこの1年は卒業論文のみに集中するだけであり、今春から小学1年生となった長女と机を共にしたく夜型にきりかえている。長女はあいうえおを、小生は文献をまとめつつ親子の絆を保とうとする中年でもある。

最後に入学して本当によかったことは学問も然る事ながら、この4年間に多くの学友を得たことで何

物にも代えがたい。勉強とは「強いて勉める」とは良くいったものだとつくづく思うこの頃である。



高知駅前病院  
(栄養士)

## 我が職場は……

食物栄養科 4 期

山本 智恵  
(旧姓 三本)

「オハヨウ!」、「栄養士さん、おはよう」病院の門をくぐるとき出会う患者さん達との朝の挨拶。一日の勤務の始まりである。

市内の中心地にある内科、精神科、神経科をもつ病院での勤務もはや今年で 13 年目を迎えようとしている。食物栄養科の永野先生の紹介であったので、どんなことがあっても 2～3 年は辛抱しなくてはと思っていたが…。実はそれ以前の 2 年間、50 床足らずの外科医院で、現場経験があったのだが、この経験が、現在献立作成時、また調理員の人達に調理指導していくうえで、役立ったと思われる。たとえば、早出と遅出の人が重なり合う昼までの人の多い時、あるいは仕込み時間を要するものの時等のことを考えながらの昼と夕の献立作成など、今思えば当たり前のことであるが…。現場を始めたころは、がむしゅらに昼食に間に合わせる為に、前日夕、遅くまで残って下ごしらえをしたことだった。

現在の職場は、栄養士 2 名、調理員 10 名。栄養士 30 代 1 名(私)、20 代 1 名(共に学短卒)。調理員は 40～60 歳代の年齢構成で、勤め始めた頃は、母親や祖母の年齢の人達の中に入ってどぎまぎしたことである。一般病院と違い精神科のある当院は、四季を通じ、いろいろな行事がある。2 月は節分の歌謡大会、3 月はひな祭り、卓球大会、4 月は遠足…… 12 月のクリスマス演芸大会まで、10 をこす行事である。その度、我々給食スタッフ一同が弁当作り、出店のおでん、ぜんざい作りと大忙しの一日を送ることもある。でも、家族と離れて暮らすことの多い患者さん達の笑顔に接すると疲れもどこえやら、他の職場では味わえない喜びである。

卒後 15 年もたつということは、それだけ先輩達が後に続いて入るということで、大変喜ばしいことである。現在栄養士のおかれている立場は決して恵まれているとはいえないけれど、日々の努力の積み重ねが自分自身の人間性の高揚に、明るい職場作り

にとなっていくのではないだろうか。

今後ますます、学園同窓の輪が広がることを願っています。



## “創立 20 周年おめでとうございます”

リハビリテーション 6 期

東京都板橋区役所衛生部  
公衆衛生課保健指導係

久木原 恭子

創立 20 周年おめでとうございます。

学院からは遠く離れた所からですが、心からお祝い申し上げます。

振り返ると、学院にお世話になったのは、10 年も前のことになってしまったようです。初めて生まれ育った土地を離れての生活でした。高知という土地や学院、何もかも戸惑うことばかりの中で、楽しい 3 年間で過ごすことができました。ちょうど 20 歳前後の大切な、時期でした。

私達は、リハビリテーション学院の 6 期でその頃は、まだリハビリテーションという言葉が世の中に知られていない頃でした。日本中から仲間が集って、年齢も、現役から 30 歳代までバラバラのクラスでした。勉強はともかく級友達との交流が楽しい毎日でした。

6 期のみんな、あっちゃんこ、すどう、ちーば、中原さん、細井さん、ふくちゃん、会長さん、もろちゃん、友ちゃん、森さん、りえみちゃん、林さん、山下さん、近藤くん、さえちゃん、ゆうこちゃん、みんなみんな、元気ですか?

今私は、なぜか東京に住んでいます。そして区役所という一番不向きだと思っていた職場で毎日仕事をしています。勝手気ままな私が、結局こんなところにいるなんて不思議。行政から区民へのサービスという立場をとっています。リハビリテーションっていったい何だろうか。人生でどんなものだろうか。なんて毎日考えています。考える範囲が広すぎて、わからないことばかりですが何とかして糸口をみつめようとジタバタしています。一度足を踏み入れてしまうと仲々出ることはできませんが、毎日を大切にしたい。少しでも前進したいと思っているこのごろです。

母校で育かれたものを大切にしていきたいと思っています。在校生、先生方、学院のこと、これからも

よろしくお祈りします。卒業生はみんな、母校のこれからの発展を心よりお祈りしております。

# 社会人ゼミナール



## 高知県における 理学療法士

高知県立子鹿園長  
江口 寿栄夫

日本における理学療法士の第1回の国家試験は、昭和41年3月にあったと記憶している。そして高知県の理学療法士の第1号は、子鹿園の常本吉夫氏（現在、高知整形外科病院勤務）である。昭和43年に高知リハビリテーション学院が設立され、第1期生の中屋、小嶋、大倉、山本（現在のリハビリテーション学院の大先生）の諸先生の若かりし頃の実習生姿が思い出されます。昭和45年1月より子鹿園に赴任してきた小生にとっては、第1期生の実習はそんなに昔の様には思えなく、その頃の美しい独身アメリカ娘であったM・アイズマン先生が、精力的に子鹿園に実習生をつれてこられていました。夜は、医局の若い医師や子鹿園の学校の若い先生方と、アイズマン女史と英会話をたのしんだことも印象に残ります。

昭和50年には、全国のPT1,851人、OT560人であったのが、以来、PT、OTの学校は急速に増加してきて、昭和61年には、PT6,114人、OT2,568人を数えるに到っています。それだけニーズが高いといえるでしょう。一方、現在のリハビリテーション医学の専門医と認定医は、合せて200人強といったところです。PT、OTの方と比べると少なすぎます。従って、これらリハ医と、PT、OTとの認識のギャップもあることは確かです。しかし、障害者を中心に考えれば、そんなに問題になることはないわけです。

高知県においても、理学療法士会（中屋会長）の活躍は高く評価されているところです。学生諸君も、当面の学問だけでなく、これらの歴史的な流れを知って、将来のPTのあり方に思いをはせて頂きたいと思っています。



## ふれあって 仲間づくりを……

高知県保健環境部  
健康対策課

宮田 福

創立20周年、成人式の年になりますが卒業生の皆様は、その歴史の一ページを飾ってきた感慨もひとしおだろうと思います。この節目にあわせたかのように、62年から栄養士養成の教科課程の改訂、第一回管理栄養士国家試験スタートの年であります。県内で就職した栄養士の約7割は貴校の卒業生で占められ、今後への期待も大きいものがあります。

さて、私は栄養士でもから始めて行政関係で30年、今日的な言葉では「化石」に属します。かけ出しの頃、マカロニを初めて講習で使うと「回虫料理」のように言われたり、「もう一匙の油を」「米食偏重を改めよう」と指導したのは、ついこの間のように思いますが、今や、米の消費量の減少、食の多様化現象をみるにつけても隔世の感がいたします。

栄養士の仕事は一見、華やかそうに見られがちですが、縁の下でささえる裏方の地味で根気のいる仕事です。私も若い頃は、若さにまかせて、恐いもの知らずに過ごし、今思うと顔の赤らむ事ばかりでした。だが、少しでも喜ばれると、私でも人様のお役に立つ事が出来たかと心から嬉しく思い、時には、あんな事で良かっただろうかと落ち込んでみたり、反省のくり返しの道のりでした。

今、ふり返って思う事ですが、栄養士は職場で複数配置もありますが多くは一人です。その事が原因とは言い切れませんが、他の技術職の組織とくらべて、意外と仲間意識、連帯感に欠ける事がみられます。もっと栄養士の先輩、後輩（これは同窓生に限らず）のタテのつながり、同世代間のヨコのつながりをお互いに持ちあい、それがタテ糸、ヨコ糸で交叉し一枚の織物に仕上たいものです。

いわば、仲間との出会いをプラスに、ふれあって成長する栄養士全体の巣づくり、助けあう事の出来あう組織へと発展していけないだろうかと思っております。お互いに声をかけあい、技術面、精神面での交流を図っていききたいものです。

\*\*\*\*\*





## 『学校教育と 実社会』

三洋証券高知支店長  
鼠 家 義 和

私が、桂浜、はりまや橋、そして坂本龍馬等で名高い南国土佐高知に初めて着任して、早や1年5カ月、初めての土地であるからかも知れないが、何もかも新鮮で高知の特色を見る事ができ、現在はほんとうに充実した有意義な毎日を過しております。

話は変わりますが、三洋証券高知支店の女子社員の中で学園短大卒業者は約65%の11名を占めています。地元採用が原則といえども、当社が高知に密着して今年で26年目となり、常に経理部門及び店頭営業部門の中心的存在に学園短大出身者となり、当社支店発展の為に貢献されております。

諸先輩、現職の方々の並々ならぬ精進と学園短大の長い歴史の中での在学中での学校教育、人間形成等の素材作りが土台にあったものであり、これらが上手に当社の職場で開花したものであると思います。

この現実には「学校教育（学園短大）＝社会（三洋証券）」と云う関係が非常に良い形で結ばれたものであり、その結果、ともに共存すると云っても過言ではないと思います。この紙面をお借りして学園短大関係者の方々に深くお礼申し上げます。

今後の採用に関しては、私の主感で非常に僭越で又、種々の考えをお持ちの方もおられると思いますが、私の女子社員採用の基本は「人物本位＝面接重視」、それも明るく、歯切れの良い、活発な人等を基本的に置いております。

一度採用入社された方々に対しては、共に職場で働く仲間として「常に楽しく働き易い環境作り」をモットーにしているつもりです。

最後に、「学園短大」「花たちばな」の限らない御発展を心よりお祈り申し上げ所感と致します。



## 母校の評価

高知県歯科医師会会長  
西 野 恭 正

母校でも何らかの関連がなければ、歳月とともにだんだん関心が薄れてくる。

時折り、スポーツを通じて学園がクローズアップされ母校の思い出が一入と鮮明になってくる。

高知県歯科医師会の代表として高知学園理事に就任し、2年が過ぎました。

理事の立場から母校をみると見方も又変わってくるし、身近に感じ、それなりに責任を強く感じてくる。卒業生にとって、母校はいつまでも心の支えであり、青春を謳歌した思い出を秘めた学園社会である。

高知学園短期大学保健科、本県唯一の歯科衛生士の養成機関であるから使命も重大である。

S59年7月1日、第4号10頁に中央保健所の金集百合子衛生士が歯科衛生士についての詳細を記述されている。

本年3月15期生が学園を巣立っている。保健科1200余の卒業生がそれぞれの分野で活躍しているし、大多数は歯科衛生士として口腔衛生思想の普及、向上、予防処置、保健指導等、一連の歯科衛生士の業務を通じて地域住民へ奉仕している。

社会人としての誠実、明朗、協調又医業従事者としての使命感、責任と義務を遂行しなければ、学園短大に無関係な一般の人達には何んの関心も示さないが、彼等自身が業務の窓口、診療を受けながら得た体験と情報に依り、当事者を通じて出身校評価、批判することを銘記し、各自の行動は衆目されていることを自覚して、日常生活を通じて社会人として、母校の栄光に恥じない行動を切望する。





## きょうだい学校・ 温かい心の交流を

高知小学校長  
高知幼稚園長  
高橋 緑

今年、学園短大創立20周年という記念すべき年、まことにおめでとうございます。

さて、毎年のことですが、短大やリハビリの学生の皆さんが、わたしの勤めている高知小学校や高知幼稚園に教育実習、或は研究その他の用務でおいでくださっていることを大へんうれしく思い、また感謝しています。

その1、2について述べます。幼稚園の方へは、幼児教育科の皆さんが毎年7～8名位は教育実習に来られるので、私もそのお話相手になったり、研究保育をやっていただききびしい事を言ったりもしています。ところで、皆さんが、幼稚園や保育所の先生になることに大きな希望をいただき、子供の中に飛び込んでいってひたすらに道を求めんとがんばってくれている姿に接し、私は時おり胸の熱くなるのを覚えることがあります。

話は飛躍しますが、学園短大を卒業されて県下各地の幼稚園や保育所で活躍されている皆さんに時としてお会いすることがありますが、そんな時は、とても身近な人として心温まるものを肌感じます。

次に、リハビリの学生の皆さんには、幼・小の子供達の体力測定等で貴重な研究を実施していただき、現場の教育に益することが大きく深く感謝しています。

なお一言つけ加えますと、上に述べたような機会を通じて、幼小の子供達と皆さん方との間に温かい心の交流が積みあげられていくことに大きな意義があると考えています。

「おはようございます」「こんにちは」などの挨拶が、皆さん方と幼小の子供達との間で、いつでも、どこでも笑顔と共に交されるようになったら、すばらしい事だなあとと思っています。

終わりに望んで、創立20周年という輝かしい貴校の伝統に深く敬意を捧げ、なお一層の飛躍発展あらん事を祈念して結びとします。



## 創立20周年に よせて

高知県臨床衛生  
検査技師会会長  
公文 精一郎

高知学園短期大学が創立20周年になり、卒業生も7,000人にも達し、学園では現在も幾多の皆様の後輩が勉学に励んでおられることとお祝い申し上げます。光陰矢の如し、です。高知学園短大に衛生技術科が設置されたのは確か創立2～3年が経てからのことだったと思いますが、当時の経緯と社会情勢はよく記憶しております。

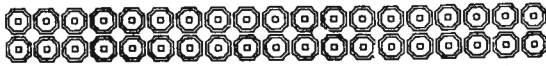
昭和40年代は日本は高度成長社会で医療界も例にもれず人手不足でした。医師、看護婦、検査技師、有資格者を求めることは困難をきわめました。県立の技師養成所も県衛生研究所に併設されましたが、定員が少なく焼け石に水でした。そういう時期に学園短大に3年制の衛生検査技師養成コースが設けられたのです。

私等は大いに期待しました。その当時の検査技師は資格はもっていても専門の学校で教育を受けて技師になった者はごくわずかしかなかったのです。ほとんどの者は軍隊衛生兵あがりか、徒弟見習いで検査を習い、特例試験を受けて技師となった者ばかりでした。

「これで専門教育を受けた技師と一緒に仕事ができる。しかも3年制の短大卒という社会に認知され得る条件をそなえて来てくれる。」

願いはまずまずかなえられました。現在臨床検査技師の90%以上が、大学、短大、専門学校で教育を受けた人々で占められ、専門家として社会から認められています。高知県でも技師会員400余名のうちほとんどが高知学園卒業生によって占められ、職場では責任者として活躍しておられる方々も多いはず。今や高知県の臨床検査は高知学園の卒業生によってなされているといえましょう。変革期の社会です。流れをよくみて社会に役立ち、後輩を引き立て、母校共々皆様の御発展を願ってやみません。





## 学 内 報 告

### 就職指導室からの お願い

学生課 就職指導室  
浜 田 義 治  
井 上 富 幸

同窓生の皆様方、各専門分野及び家庭等でご活躍のことと存じます。平素は、本学並びに本学院卒業生の就職に対し、いろいろご支援、ご協力下さいましてありがとうございました。

さて、創立20周年を迎え既に短大6,071名、リハビリ441名の同窓生の方々に社会へ送り出してまいりましたが、昨今の社会情勢特に経済情勢につきましては、皆様方もよく御存知の通り非常に困難な状況であり、雇用情勢につきましても年々困難な状況になりつつあります。

本学、本学院におきましても、専門知識と技能の体得に日々努めておりますとともに、明朗で協調性豊かな学生の育成に努力し、学生もこの方針を理解し、勉学に励んでおります。本年度も明春3月には約370名の学生を社会に送り出すことになっておりますが、卒業後は各自の希望する分野と適所に進ませたいと念願致しております。つきましては、皆様方の身辺におきまして求人のお話がありましたら、学生課就職指導室（0888-40-1121 内線59）まで、ご一報下さいますようお願い申し上げます。

### 佛教大学との 教育併修システム

高知リハビリテーション学院（以下リハ学院と略す）は昭和62年4月に佛教大学通信部と教育提携

をしました。

リハ学院は全国唯一の4年制理学療法士養成機関であり、卒業生は県内外で理学療法士として活躍していますが、専修学校のため学歴は高卒扱い。いろいろな面で不利益となるため、改めて通信教育または夜間大学で学士号を取得するものもいました。そこでリハ学院卒業と同時に学士号を得られるようにと併修を検討してきました。その結果、大学通信教育で全国唯一の社会福祉学研究機関を有する佛教大学と話がまとまり、62年度入学生から新制度を導入しています。

この制度は、リハ学院への入学と同時に佛教大学社会学部福祉学科に通信生として入り、本学院で平常の授業を受け、指定のスクリーニング（かなりの部分を大学派遣講師により高知で開講する）に参加する事により、大学卒業に必要な単位が修得できます。また、希望により教員免許状及び社会教育主事等の諸資格も取得することができます。

### 編 集 を 終 っ て

高知学園短期大学・高知リハビリテーション学院も、本年創立20周年を迎えることになりました。今回、№5通信「花たちばな」を発行するにあたり、投稿してくださいました先生方、同窓生のみならず、どうもありがとうございました。20周年ということで、このたびは各方面で活躍している卒業生の声を多くお届けいたします。同窓生6,500人を越した今、同窓生の輪が大きく広がって、同窓会がますます発展することを願っています。

編集委員長 長 野 す が（衛生2期）  
編集委員 西 村 浩 代（食栄13期）  
〃 木 村 由 貴 子（食栄16期）  
〃 川 口 恵 子（ 〃 ）  
〃 徳 弘 奈 美（衛生16期）  
〃 岡 上 典 子（幼教15期）  
〃 塩 井 江 里 子（ 〃 ）  
〃 細 木 美 賀（保健8期）  
〃 中 石 裕 子（保健12期）  
〃 田 村 千 恵（リハ3期）  
〃 長 崎 香 代（リハ5期）



昭和61年度 就職状況 (62.4.30)

科・卒業者数	職 種	業 種	就 職 者 数	主 名	就 職 先
食物栄養科	栄養士	病 院	13	第一病院・細木病院・愛宕病院・村上外科胃腸科・田中外科・野市中央クリニック・上村産婦人科・森本外科・・・・・他	高知学園短期大学・高知リハビリテーション学院
	栄 養 士	学 校 給 食	2	城山保育園・聖園天使園	
	栄 養 士	業 団 給 食	3	高知ヤマザキ・大阪魚国・雪印乳業	
	事務職員等	金融・損保 一般企業等	56	四国銀行・高知相互銀行・野村証券・大和証券・三洋証券・東京証券・第一証券・三井生命・東邦生命・安田生命 東京生命・日本生命・大信託・オリエントファイナンス・出光興産・高知トヨペット・繊維KKK久保・テレビ高知・・・・・他	
121	その他	就職希望者数	112	就職決定者数 74	就職率 66%
衛生技術科	臨床検査技師	病 院	18	岡村病院・高知北病院・四国勤労病院・日本駒吉福山病院・広島共立病院・福島生協病院・渡辺病院・海部中央病院・・・・・他	
	事務職員等	検査センター 一般企業等	2	高知県職員・高知県赤十字血液センター・トウクリララボラトリー・関西医学検査センター・岡山医学検査センター・・・・・他	
	その他			第百生命・高知赤十字病院	
55	その他	就職希望者数	49	就職決定者数 38	就職率 78%
幼児教育科	教 員	幼 稚 園	11	高知幼稚園・春野幼稚園・高知大学教育学部附属幼稚園・みかづき幼稚園・一宮幼稚園・へいわ幼稚園・清明幼稚園・・・・・他	
	保 母	保 育 園	39	鶴原保母・福井保育園・釜山保育園・あおい保育園・江の口東保育園・十津保育園・吾阿保育園・瀬戸保育園・・・・・他	
	福祉施設	福 祉 施 設	2	トキワ苑・博愛園	
	事務職員等	一般企業等	14	高知県職員・本山町職員・商工中金・高知相互銀行・安田火災・国内信販・日動火災・花王・ミレナ楽器・ハウス食品・・・・・他	
82	その他	就職希望者数	76	就職決定者数 66	就職率 87%
保健科	歯科衛生士	歯 科 医 院	46	高知県職員・森田歯科・安阿歯科・津田歯科・青木歯科・国藤歯科・山崎歯科・松本歯科・ひろせ矯正歯科・矢野歯科	
	教 員	養 護 教 諭			
	事務職員等	一般企業等	27	日本銀行・国民金融公庫・農林中央金庫・四国銀行・高知相互銀行・東京証券・日本生命・大信販・上島コーヒー・土佐ガス	
80	その他	就職希望者数	75	就職決定者数 73	就職率 97%
短大計338		就職希望者数	312	就職決定者数 251	就職率 80%
高知リハビリテーション学院	理学療法士	病 院	22	新高県職員・高知県職員・姫路赤十字病院・甲州中央温泉病院・道後温泉病院・大阪医科大学付属病院・有馬温泉病院	
	事務職員等	福祉施設	5	東京都養育院・香川県身体障害者福祉総合センター・横浜市リハビリテーション専門団・中伊豆リハビリテーションセンター・島田養育園	
27		就職希望者数	27	就職決定者数 27	就職率 100%